

第5回 石山・東石山地域 地域の公共施設のこれからを考えるワークショップ

1. 再配置案の評価結果（案）に対する意見

(1) 案全般

- これまでの意見がしっかり反映されている案で評価結果も異論はない。
- 物価や建築材料が高騰しているが、整備する時になって予算が足りなくて整備ができなくならないように、社会の動向、財政のことを第一に考えて案を検討してほしい。

(2) 再配置案Ⅱ・Ⅲ（共通意見）

- 人口減少が進む中で、公共施設を集約していくことは必要不可欠だと思うため、「施設機能が集約されているか」は重要な評価項目だと思う。また、新しい施設を二つ建てるよりは一つに集約して充実した建物にしたほうが、人件費や維持管理費の面からも良いはずなので、案Ⅱ、Ⅲが望ましいのではないかと。将来を担う世代に負担を残さないようにしたい。
- 案Ⅳは、市が運営する公民館の貸室等と、地域のコミュニティ協議会が運営するコミュニティセンターが2つに分かれる可能性があるが、将来的に運営の効率化で運営主体をどちらかひとつにすることを検討することもあるかもしれない。フレキシブル、かつ、効率的な運営を見据えて、新施設は1カ所にまとめた案Ⅱか案Ⅲにしておいた方が良いと思う。
- 石山南まちづくりセンター（の施設）が残る案Ⅱと廃止される案Ⅲとで園芸センター記念公園の残る面積が変わるということであれば、公園がより広く残る案の方にしてほしい。
- 多世代交流は今後、地域活動で大切にしていきたいため、「多世代が集いやすい場所を拡充する」の評価項目の評価が高い案Ⅱか案Ⅲが良い。

(3) 再配置案Ⅱ・Ⅳについて（共通意見）

- 案Ⅲは、駐車場を確保するために園芸センター記念公園のほとんどを使うことになるかもしれない。今ある公園の緑がなくなることは避けたいので、案Ⅱか案Ⅳが良いのではないかと。
- 案Ⅲは、駐車場が十分に確保できないのではないかと。案Ⅱ・Ⅳのように施設を分けて、人も分散させることで駐車場を確保できるようにしたほうがよいのではないかと。

(4) 再配置案Ⅰについて

- 施設数を減らすことでコスト削減に繋がることは理解できたが、耐震工事を行なっている石山地区センターを廃止し、解体してしまっているのか。もったいないという気

持ちがある。拠点として残したい。

(5) 再配置案Ⅱについて

- 評価項目でみると、財政負担は案Ⅱ、案Ⅲともあまり差がないため、より住民へのサービス向上に繋がる案を選びたい。案Ⅱの石山南まちづくりセンターに出張所機能が移転する案は、新施設に全ての機能を集約する案Ⅲよりは利用の混雑を回避できると思う。評価項目も「施設機能が集約されるか」だけでなく「利用混雑を分散・回避できるか」を入れてほしい。
- 石山南まちづくりセンターに出張所機能を移転するとなると、新施設の整備費のほかに石山南まちづくりセンターの改築費の予算を確保する必要があるのではないかな。また、そう遠くない将来に石山南まちづくりセンターを改築しなくてはならない時期がきて、余計なお金がかかるのではないかな。
- 石山南まちづくりセンターの建物に出張所機能を移転するとなると、駅前の新施設が案Ⅲより広く使えない可能性が高いのではないかな。

(6) 再配置案Ⅲについて

- 図書館、貸室、出張所等の機能が集約された施設を整備することは便利になるので、「施設機能が集約されている」という視点は大切だと思う。また、出張所は将来的に IT 化や AI 化が進み、窓口機能も効率化して規模が縮小されることが予想される。新施設に出張所を集約しておいたほうが、将来的には使用しなくなった出張所スペースを貸室にしたり、地域のコミュニティのために使用したり、建物の用途変更の可能性がひろがるため、案Ⅲがよいのではないかな。
- 園芸センター記念公園の一部を駐車場に使うことができ、広く台数を確保できそうなので、案Ⅲが良いと思う。
- 案Ⅲになると、敷地面積の関係で高層階になり、駅前の景観が損なわれる可能性がある。住宅地も多いので賛成しない人もいるのではないかな。

(7) 再配置案Ⅳについて

- 市の説明だと石山地区センターが廃止された場合、跡地は売却される可能性が高そうだが、それは残念な気持ちがある。規模が小さくなったとしても、石山地区センター跡地に地区のコミュニティの拠点が残る案Ⅳは評価できる。

(8) 再配置案Ⅴについて

- 「アクセスしやすい公共施設配置とする」の評価項目のひとつである「地域内のどの場所からもアクセスが良いか」で、案の内容が異なるにも関わらず、案Ⅴの評価結果の文言が案Ⅱと案Ⅲで同じ理由なのかわからない。きちんと評価がされていないのではないかという疑念を生むので表現を変えた方がよいと思う。

2. 計画を実行する際に配慮すべき事項（付帯事項）に対する意見

(1) 施設を快適に利用するための設備について

- 新施設や出張所は、高齢者等が不便にならないように対面での窓口対応も残しつつ、AI化、デジタル化を進めることで利便性を高め、人件費の削減につなげてほしい。
- 建物のバリアフリー化だけでなく、多様な人が使えるような設えを工夫してほしい。ハード整備だけでなく、障がい者がつくった作品が置いたりすれば、心があたたかくなる公共施設になるのではないかな。
- 園芸センター記念公園と一体になったテラスのような空間や、公園を眺めながらゆっくりくつろげるカフェのような空間があると良い。
- 高校生等が越後石山駅を降りて勉強に立ち寄ることができる空間があると良い。面積はさほど広くなくても、カウンター型の席などいくつかのスペースがあると良い。
- 越後石山駅から新施設まで雨に濡れないで行き来できると便利で良い。

(2) 民間活力の導入の検討について

- 新施設にコンビニやカフェが併設されていると良いとは思いますが、開館時間を考えるとコンビニの営業は難しく、維持ができるかは課題になると思う。
- 高層階にして民間のテナントを入れられると良い。

(3) 適正規模の駐車場と施設の管理について

- 駐車場台数は、少なくとも現在の石山地区センターより確保してほしい。

(4) 園芸センター記念公園の緑地維持について

- 園芸センター記念公園の敷地がどの程度残るのかの説明がなく、現段階で具体的に示すことは難しいとのことなので「できるだけ残す」という市の言葉を信用するしかないが、概ねでも規模は知りたい。結果的にほとんど残らなかったとならないようにしてほしい。
- 園芸センター記念公園を残すと維持管理が大変になる。中途半端な規模で残すくらいであれば、石山地区センター跡地を活用して新たに公園にしたほうが良い。
- 公園と一体になったテラスのような空間や緑を眺めてゆっくりできるカフェができる規模の広さは確保してほしい。
- 園芸センター記念公園周辺には緑がある公園がほかにはないと、これまで管理してきた人たちの思いを考えて、地域の憩いの場として活用したい。緑はできるだけ維持し、散策ができるように敷地の半分程度は残してほしい。

(5) その他

- （公園は）緑を維持し、景観をより良くすることはもちろんだが、こどもや親子がゆっくり憩えるように、遊具の設置や樹木の配置を再検討し、明るい雰囲気的空間に再整備してほしい。
- 保健福祉センターの事務室が東区役所内に集約されることについて、区役所まで行くのが大変になるのではという不安を持っている子育て世代の人がいる。これまでと変わらずに地域に出向いて対応するとのことだが、子育て世代や介護保険を利用している高齢者が困らないよう、これまでどおりのサービスが受けられるように機能維持はしてほしい。
- 公共施設が利用されるためには、公共交通機関の充実が不可欠である。再編を機に区バスや、電車などの公共交通機関の利便性を向上できると良い。
- （越後石山駅前に新施設を整備した場合）周辺の道路は幅員が狭く、バスが通るとすれ違いができないと思う。再編にあわせて道路を拡幅し、アクセスを良くしてほしい。
- 越後石山駅舎と新施設のデザインに統一感を持たせたい。統一感を持たせて駅前の雰囲気づくりができると、地域内外から訪れやすい場所になるだろう。
- 新施設に貸室を集約した場合、石山南まちづくりセンターで活動していた人たちが変わらずに使いやすいよう、これまでどおりコミュニティ協議会に管理してもらいたい。
- （新施設が）指定避難所にはなくても、外にマンホールトイレやベンチトイレなど災害時に住民が使える設備があると良い。
- 学生たちが本当に必要だと思う使いやすい施設にしてほしいので、アンケート等を実施し、若者のニーズも確認しながら進めてほしい。
- 越後石山駅付近は住宅地であるため、新施設が高い建物になった場合は日照の問題や、景観が変わってしまう住宅が出てくるかもしれない。影響がありそうな住民に意見を聞き、理解を得た上で進めてほしい。

3. その他の質問や意見

- 地域別実行計画の今後のスケジュールの説明があったが、具体的な時期の説明がなかった。いつ頃、何がどうできるのかスケジュールを示してほしい。
- 案Ⅲは2つの施設が廃止されるが、案Ⅱの方がコスト削減されているのはなぜか。
- 越後石山駅東口から新施設ができる西口に徒歩で移動する人にとっては、駅にエレベーターが整備されるかどうかでアクセスがよいかどうか異なってくる。エレベーター設置がされるか確認してから話し合いをしたい。
- 案ごとに集約される施設が異なると、新施設の規模も違ってくるのではないか。新施設の規模感を知りたい。
- サークル活動の道具を石山地区センターの倉庫に保管してもらっている。新施設に道具を置ける場所がないと活動が続けられないので保管できるようにしてほしい。
- シルバーピア石山の憩いの家（お風呂）は、利用者が少なくても、日常生活で必要な人や利用している人がいる限り残してほしい。災害時のことを考えても必要である。
- 少子高齢化や人口減少が進むと思うので、地域の人口推移予測などを参考にしながら、施設の規模やサービスの内容を決めてほしい。